

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	門真共生福祉会 ジェイ・エス・ステージ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～ 令和7年 4月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 13名
○従業員評価実施期間	令和7年 3月 10日		～ 令和7年 4月 11日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	見学や初回ご利用日にも抵抗なく部屋に入って過ごせ、初めての のお友達も優しく接してくれて、安心していただけます。	開放的な空間と、部屋に入っすぐに興味を持ってもらえそう な玩具屋、絵本棚などの配置にしています。	安全・保健衛生対策を強化し、より安全に快適空間を提供で きるように努めます。
2	子どもが児童期に体験できる事柄を常に提供しています。 知らなかったことを知って興味を持っていただく、チャレンジ していただく、自信をつけるなど児童期に必要な事柄を提供し ます。	それぞれに合わせた遊びを提供するとともに、経験する機会を 設けています。経験を通して興味、チャレンジ、自信につなげ ていく取り組みをしています。	職員一人一人が持っている経験を出し合い、子どもたちに提 供する事柄を増やしていきたい。
3	長期休暇のお迎えが早く、ご帰宅時間もできる限りご希望に合 わせています。また、変則的な送迎にも対応しています。	職員体制の整備。	今後も継続して、できるだけご希望に添えるように努めま す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援の中で自然に行っている5領域をさらに意識して療 育に取り組んでいく。	職員一人一人が5領域を理解し、課題を出し合い検討し、取り 組んでいく。	5領域についての理解。研修会の実施。など
2	地域との連携	地域の方々との日々の関係は続けているが、地域の学校や支援 学校との交流の場の設定の方法などを考えていきたい。	法人全体で行っている地域中学生との交流会に積極的に参加 していく。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日	令和 7 年 4 月 21 日
------	--	-----	-----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		全部屋を見渡せるようになっている。	部屋を行き来される方もおられるので、安全確保に努める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		すべてのフロア、出入口トイレがバリアフリーになっています。また、支援内容で使用する部屋をわかりやすくし、視覚支援により理解しやすい環境にしています。	現在、対象児童がおられませんが、手すりなどが必要になれば、設置していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の消毒作業をおこなっています。物を置く部屋と活動できる場所をわかりやすく整えています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習スペースを設け、パソコンでの宿題がある場合は別室で取り組める環境にしています。	学校の宿題がパソコンを使用することが多いため、環境を整えていきたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティング、定期的な職員会議及びケース会議を行っています。	非常勤職員からの情報を得られるように、調整し、会議に参加していただく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からのご意見などは随時おこなっています。改善すべき点に関して努めています。	改善点のご意見があれば、対応に努めます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼・職員会議、個別での話し合いなどで、改善できるよう努めています。	職員同士で意見が出しあえる環境を作りたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		必要に応じて取り入れたいと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人研修、外部研修に参加しています。	研修に対する意識向上をしていく。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムをホームページにて好評しています。	実情に合った支援プログラムになるように、修正を加えていきたい。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的なアセスメント、モニタリング及び面談を実施し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	ご利用者のニーズに合わせて作成していきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議や職員からの意見を踏まえたうえで検討を行っています。	職員間の共通理解をさらに深めたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の日誌に計画を記載して、計画に沿った支援を提供しています。	職員が支援計画を意識しながら支援に取り組めるように確認しながら行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用して状況を把握し、職員間での日々の情報交換や保護者からの情報聞き取り（送迎時）などを行っています。	常に化する状態を情報共有をしていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を盛り込んで計画を作成しています。家族支援、移行支援、地域支援・連携などは必要に応じて取り入れて行きます。	地域支援、連携など法人とともに取り組めることを今後も検討していく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員が話し合い、毎月の取り組みを作成しています。	非常勤からの提案も活発になるように働きかける。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		急な変化がないように徐々に中身を変化させたり、子供からの要望なども取り入れている。	個々にあったプログラムも増やしていきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		宿題や練習ができる個別支援の設定と、集団での取り組みが苦手な方も、集団で遊ぶ楽しさを感じられるように少しずつ取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて確認し、児童の様子などの話し合いも行っています。	実時間中の変更などの連絡などの徹底。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後は勤務時間外になることが多いため、記録の記入をし、主な打ち合わせや前日の報告などは朝礼時としています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の個別記録及び日誌を作成しています。	気づきを報告しあい、検証を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリング。	見直しが必要であれば対応していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		友達との関係、一緒に遊ぶ楽しさを感じていただけるような取り組みを提供しています。高等部は地域の中学校との交流会に参加させていただいています。	交流会の幅を広げたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童が選択しやすい環境及び機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達管理責任者が参加しています。可能であれば、担当者が参加します。	担当者以外でも状況が理解できるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて取り入れたいと思います。	医療機関との連携は地域課題となる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校が発行している月間予定表を参考にしています。また、お迎え時に引継ぎを行っています。	学校との連絡を密にしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて取り入れたいと思います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者会議を行う場合は必ず出席し、情報共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		各月に開催される児童発達支援通所事業所連絡会には必ず出席しています。	必要に応じて助言や研修などにも参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在は行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		連絡会の会長が出席され、情報を共有いただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にその日の様子をお伝えしています。又、電話での児童の状況をお話させていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在は行っていない。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に行っています。	お話しできる機会には、ご説明していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約などの面談での聞き取りをもとに作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画及びモニタリングをご説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		時間を問わず電話対応を行っている。	こちらからの提案と一緒に検討していただく機会を設けたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	保護者同士、きょうだい同士の交流会をこちらで用意することは行っていない。 必要があれば実施していく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	営業時間外でも保護者からの連絡を受け付けており、ご意見・ご要望などがある場合はできる限りの対応をさせていただいている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	HPで時折活動報告を行っている。	活発に行っていないのが現状であるため、活動できるように努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	職員への周知徹底を行い、書面などは施錠アリの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	児童には視覚支援（絵カード・写真）などを活用し、表現を促すなどを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方を招待する行事は行えていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	職員への周知徹底を行い、保護者の方がいいつでも閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCPは作成しており、月に2回避難場所へのルートなどの確認を児童とともにしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	契約に確認しています。	定期的に勉強会を開催したい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時に食物アレルギーについて聞き取りを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	必要に応じて閲覧できるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットを行っている	職員の意識の向上に努めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	ご契約時に説明している。身体拘束が予想される場合記載することとしている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジェイ・エス ステージ ジュニア
------	------------------

公表日 令和7年4月21日

利用児童数 22名

回収数 13名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85%	15%			・少し狭いかも ・子供が走り回れるぐらいのスペースが十分確保されている。	・今後も安全面を重視し、快適に過ごせるように努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	84%	8%		8%	・スタッフの人数と名前が把握できない。 ・職員の人数が少なすぎると支援や配慮が困難になると思うので適切だと思います。	・事業所外観、車両、職員、その他の写真など必要な場合はご用意しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84%	8%		8%	・少し老朽化していると思う	・今後、移転なども視野に入れて検討していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92%			8%	・清潔で心地いいと思います。 ・活動に合わせた空間になっていると思います。	・今後も保健衛生に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	69%	8%		23%	・ミュージックケアやクッキングなど支援できていると思う	・一人一人に合った支援を今後も続けてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	69%	8%		23%		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	77%			23%	・個別支援計画を見たことがないのでわかりません	・説明不足な点を改善していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	84%	8%		8%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	77%	15%		8%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	77%	15%		8%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	31%			69%		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%			8%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	38%	9%	15%	38%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92%	8%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	76%	8%	8%	8%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	85%	15%				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	38%	9%	15%	38%	・そのような活動を知りません	父母の会、保護者会などは現在行っておりません。必要に応じて取り入れたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%			8%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				25%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83%			17%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	83%			17%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	8%				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・いつもすごく楽しみにしています。	・ありがとうございます。今後も子どもたちが伸び伸びと過ごせるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	92%	8%			・いつもありがとうございます。	・ありがとうございます。今後も子ども達に寄り添った支援ができるように邁進いたします。